

## TX 県内延伸に関する第三者委員会 議事概要

【日時】 令和4年12月12日（月）14:00～16:30

【場所】 茨城県庁舎5階 庁議室

【出席者】 出席者名簿のとおり

### 【委員等からの主な意見】

- ・ 鉄道延伸によって、広域でより多くの高校を選択できたり、電車通勤中の作業が可能になるなどの多様な働き方が広がったりする可能性は重要な視点である。
- ・ 観光についていえば、近年、個人旅行中心にシフトしており、交通ネットワークが充実していることは、県外・海外から観光客を誘客するときに武器となる。TX 県内延伸による公共交通ネットワークの強化に期待している。
- ・ 方面の選定に当たっては、将来世代の負担にならないよう、採算性や事業費などの事業性分析をきちんと考慮することが大切である。
- ・ TX 延伸によって、既存の鉄道やバスに悪影響を及ぼさないといった観点は、交通ネットワークの維持や充実を考えるうえで、大変重要。
- ・ 方面決定後は、延伸部分の周辺地域だけの小さな計画にならないように、県全体としてTXをこの先どう利用していくか、県全体が同じイメージを共有し、調整を進めて頂きたい。
- ・ 現在の需要だけで判断をするのではなく、例えば延伸を機に、新たに公共交通の利用促進に向けた施策を打ち出すことも必要ではないか。
- ・ 需要増に向けて、公共交通の利用促進について、県をあげて取り組む必要がある。
- ・ 鉄道による長距離の移動だけでなく、駅から先の二次交通の充実についても一緒に考えていかなければ、鉄道の利用促進につながらない。
- ・ 沿線地域と周辺地域で格差が生じる可能性があるため、鉄道延伸をした場合に、県内での人口の取り合いにならないような配慮が必要ではないか。
- ・ 提言には、実現に向けた課題をきちんと整理して県に対して示すべき。